

ふ と の



町花：山百合

議会だより

9月定例会

No.145

平成30年10月19日

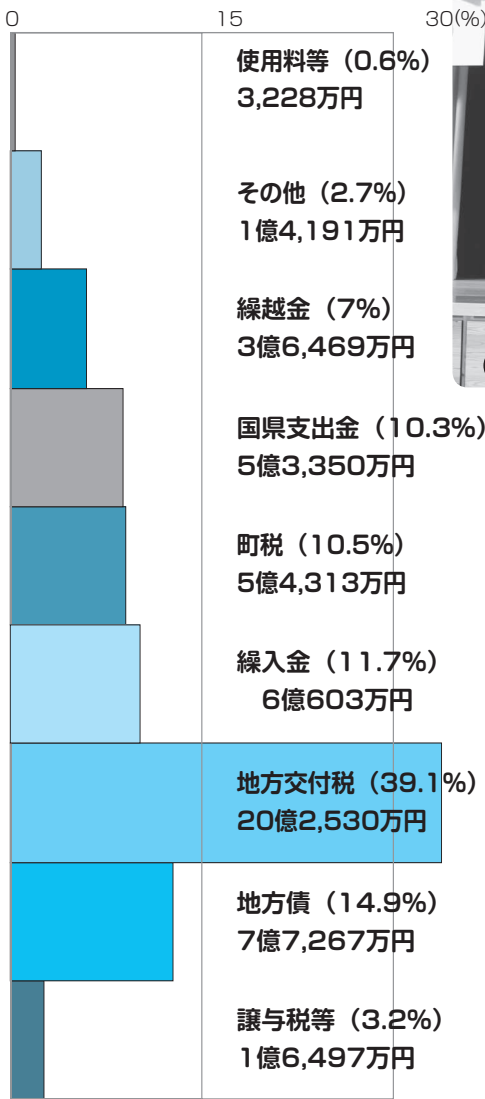
平成29年度会計の決算を認定	2
可決した条例等.....	6
一般質問：人口減少への対策など6議員が12問 ...	8
追跡レポート：図書館の土日開館.....	15

古殿町民体育館開館記念事業
「福島ファイヤーボンズ・プレシーズンゲーム」
(9月23日 やぶさめアリーナ)



エキシビジョンマッチにおいて古殿ミニバスと
小田倉（西郷村）が対戦しました

69億2千万円を認定



祝 古殿町民体育館落成式



主な事業



9月定例会は、9月7日から13日まで、7日間の会期で開催されました。平成29年度各会計の決算認定や税条例等の一部を改正する条例、追加議案として教育委員会委員の人事案件を含む15議案が提出され、原案のとおり可決しました。

歳入合計
51億8,448万円

決算審査意見

代表監査委員 薄 井 憲 一
監査委員 鈴 木 一 郎

一般会計、各特別会計とも黒字決算となり、健全財政を堅持した。歳出総額で、前年度比4.7%にあたる2億2649万円の増額となった。町民第1体育館建設工事や、石川消防署古殿分署新施設用地等整備工事などが大きな要因である。地方債は、平成29年度末現在高53億5389万円で、前年度より2億2086万円増加している。可能な限り繰り上げ償還も検討願いたい。ふるさと応援寄付金は90件195万円の実績となっている。町のPRとなる返礼品は喜ばれる特産品にして、より多くの人々に応援してもらえるようにしていただきたい。

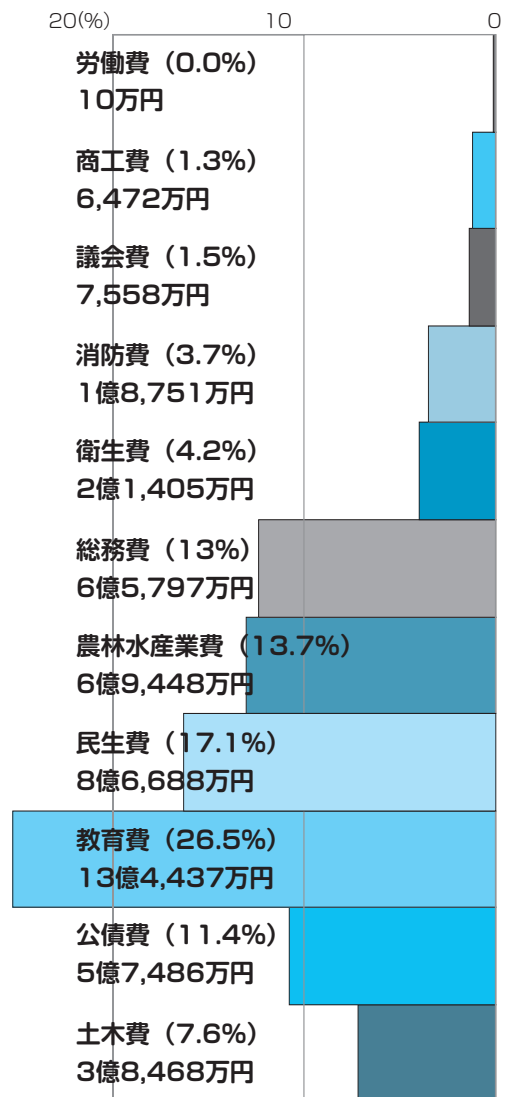
決算の意義

議会が決めた予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果を住民に代わって評価するもの。
(議員必携より)

お詫びと訂正

144号の2ページ中見出しで、「国保税1人あたり平均約1126円の減額」とありましたが「1万6997円の減額」にお詫びして訂正します。

平成29年度総決算額



歳出合計
50億6,520万円

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	収入未済額 (滞納額)	採決の結果	
一般会計	51億8,448万円	50億6,520万円	3,635万円	認定(9対2)	
特別会計	国民健康保険	7億3,629万円	7億12万円	4,838万円	認定(全員賛成)
	簡易水道	8,374万円	8,239万円	181万円	認定(全員賛成)
	農業集落排水事業	7,739万円	7,510万円	299万円	認定(全員賛成)
	林業集落排水事業	2,661万円	2,553万円	1万円	認定(全員賛成)
	介護保険	7億5,391万円	7億2,601万円	371万円	認定(全員賛成)
	後期高齢者医療	6,070万円	6,059万円	30万円	認定(全員賛成)
合計	69億2,312万円	67億3,494万円	9,355万円		
前年対比	99.3%	103.5%	100.3%		

各会計の決算状況と採決結果
(1万円未満切り捨て)

平成29年度会計決算認定審議

議案 審議

一般会計決算認定

平成29年度の一般会計は歳入51億8448万円、歳出は50億6520万円となりました。歳入歳出の差引額は1億1928万円となり、翌年度への繰越事業の財源4046万円を差し引いた実質収支は、7882万円の黒字となりました。

質疑

Q 町民体育館で交流人口の増加を図った今の手応えと今後の見通しは。

A 今年度は町で依頼している事業が多いのですが、体育館そのものの評価をいただいています。スポーツ大会開催の問合せもあり、何件かは継続的な利用の可能性を感じます。



Q 固定資産税137万円の不納欠損額が発生した理由は。

A 法人等で倒産したり、個人で資力がなく、今後も滞納が解消できない案件で時効が成立したことなどにより不納欠損となりました。

Q がんばる地域活性化支援事業交付金が昨年に比べて大きく増額しているのはなぜか。

A 申請団体が平成28年度は16件で、29年度は22件に増加しています。現在の補助金交付要綱が平成30年度までなので、平成31年度以降は今までの実績を精査して検討します。

Q 各検診について受診はどのように推移しているのか。

A 子宮がん、肺がん、大腸がんは平成28年度とほぼ同数、胃がんにつきましては内視鏡検査の実施もあり、若干増えています。受診の再勧奨をして受診率を上げる取り組みをしています。

Q 合併処理浄化槽設置の目標はあるのか。

A 基本的には年間15基を目標に現在進めており、対象エリアの人口で約55%の設置割合となっています。

Q 大原木材加工施設でのくらの利用があったのか。

A バイオ乾燥機は2社の利用、強靱化木材製造用プールは1社の利用、合わせて5万円弱の収入がありました。

討論

反対

岡部 淳一 議員

交流人口の拡大および定住人口の増加という言葉が何度も使われながら、雇用関連の施策が見えてこないことや、まちづくりに対する住民の声、議員の声に耳を傾ける姿勢が必要であるとして反対します。

反対

野崎 喜彦 議員

町民体育館について、今後どのように維持していくのか、交流人口拡大の起爆剤になるのかについて一貫して異を唱えてきました。やぶさめアリーナは町の活性化に大いに資すると期待するものではありますが、私の現在までの立場から反対します。

賛成

緑川 栄一 議員

歳入・歳出額につきましては、当初予算および補正予算で議決された予算の決算であります。財源の確保が厳しい中で実質収支は黒字であり、引き続き所要の財源確保と効率的な財政運営、経費の削減等に努められるよう要望し、賛成します。

採決

賛成 9

反対 2 可決

会計別		収入未済額の内訳	
一般会計	町税		2,827万円
	保育料		110万円
	給食費		18万円
	住宅使用料		642万円
	負担金・貸付料等		38万円
特別会計	国民健康保険	保険税	4,838万円
	簡易水道	使用料	181万円
	集落排水	使用料	300万円
	介護保険	保険料	371万円
	後期高齢者医療	保険料	30万円
合計			9,355万円

税金・使用料 の滞納額



わが町の 一般会計分 貯金と借金

借金の種類 借入金は元金です。

区分	29年度末残高	昨年度増減	算入率
一般公共事業債	4,725万円	△324万円	50%
公営住宅建設債	2,599万円	△506万円	0%
災害復旧事業債	632万円	△394万円	～95%
義務教育整備債	540万円	△304万円	～70%
一般単独事業債	4,360万円	△1,765万円	～50%
過疎対策事業債	30億9,215万円	2億7,437万円	70%
辺地対策事業債	7億2,929万円	5,430万円	80%
財源対策債	329万円	△295万円	100%
臨時財政特例債	0万円	△387万円	100%
減税補てん債	1,398万円	△445万円	100%
臨時税収補てん債	0万円	△133万円	100%
臨時財政対策債	13億8,659万円	△6,225万円	100%
計	53億5,386万円	2億2,089万円	

貯金の種類 (1万円未満切り捨て、端数処理あり)

区分	29年度末残高	昨年度増減
財政調整基金	10億2,345万円	2,291万円
減債基金	6億6,917万円	18万円
文教厚生施設等基金	10億8,136万円	△3億7,910万円
ふるさと創生基金	3,658万円	△3,552万円
さわやか福祉基金	1億5,425万円	0
計	29億6,481万円	△3億9,153万円

運用基金

区分	29年度末残高	昨年度増減
土地開発基金	1億円	0
優良雌牛導入事業基金	5,500万円	69万円
奨学基金	7,053万円	177万円
計	2億2,553万円	246万円

条 例 等 ・ 予 算

可決された条例等（抜粋）

古殿町税条例等の一部を 改正する条例

個人住民税

（平成33年度から適用）

◎課税基準額の引き上げ

① 障害者、未成年者、寡婦および寡夫に対する非課税措置の所得要件の引き上げ。

② 均等割および所得割の非課税限度額の引き上げ。

◎基礎控除等の見直し

合計所得金額が2500万円を超える所得割の納税義務者については、基礎控除および調整控除を適用しない。

たばこ税

（平成30年10月1日から適用）

◎税率の改正

紙巻たばこ1本あたり1・29円の増税。3段階に分けて実施し、国・県のたばこ税も含めると1本あたり3円の増税となる。

議 案 審 議

一般会計第2次補正予算

歳入歳出それぞれ2153万円を増額し総額4億3863万円とする補正予算。6次化商品開発関係経費などの地方創生推進交付金委託料が680万円、飲料水確保対策事業補助金150万円、簡易水道特別会計において本管布設替え工事を行うため繰入金388万円などの増額が主なもの。また一般会計決算に伴い繰越金2882万円などの歳入予算が増額します。

質 疑

Q 地方創生推進交付金委託料の具体的な内容とは何か。

A 道の駅ふるとのの販売力強化の基盤を構築するための基礎的な調査や整備、6次化商品の開発、ICTを活用した販売状況ネットワークの構築、おふくろの駅のホームページのリニューアル、観光資源を活用した誘客促進のための基礎調査などを本年度予定しています。道の駅を中心とした委託事業となります。

Q 大豆ミートの新メニュー開発とあるが今までの状況は。

A 給食のハンバーグなどがありました。新メニューの開発はこれから模索していきますが、県内の大口販路は給食となります。

Q 飲料水確保対策事業補助金の申請が相当数あるということか。

A 当初5件で予算計上しましたが、既に5件の申請があり、相談も4件あることから補正しました。

Q 道路維持補修工事の内容は。

A 大久田市内の林道茗荷線の法面復旧工事で、今年度を実施設計を行い、設計額が確定したということで、工事を実施するための補正です。

人事案件

教育委員会委員の選任に同意

任期満了に伴い、新たに渡邊家伸さんを選任することに同意しました。



渡邊 家伸さん

住所 松川字横川

任期 平成34年10月7日

可決した主な

請願の採択

◎国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての請願

請願者 新日本婦人の会
 福島県本部 会長 井上 裕子
 紹介議員 岡部 淳一議員

総務常任委員会報告 不採択に対して

討論

不採択に
 反対

岡部 淳一 議員

国が教育の一環として食育を進めているため、国や県もその責任があります。町が給食費の無料化を進めるのは賛成ですが、同時に国や県に求めることも議員の責務であり、不採択に同意できません。

不採択に
 賛成

鈴木 一郎 議員

給食費の無料化については、国に求めて行うものではなく、学校の設置者である町が主体的に行うべきものです。町が全体の子育て支援の施策のなかで主体的に決定していくべきものと考え、不採択に賛成します。

審査の結果

不採択

◎県に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての請願

請願者 新日本婦人の会
 福島県本部 会長 井上 裕子
 紹介議員 岡部 淳一議員

総務常任委員会報告 不採択に対して

討論

不採択に
 反対

岡部 淳一 議員

給食費の問題は全国的な流れであり、国や県がその方向性を定めるべきです。国会でも給食費は食材料費等も含まれた無料化が論議されており、不採択に同意できません。

不採択に
 賛成

鈴木 一郎 議員

町では、子育て支援として、こども園での保育にかかる部分の無料措置など、様々な支援策を総合的に行っています。町が主体的に決定すべきと考え、不採択に賛成します。

審査の結果

不採択

産業建設常任委員会



戦略的産地づくり総合支援事業で導入されたハウスの現地視察

総務常任委員会



新しくなった三株山頂富士見台の現地視察

常任委員会の活動



一般質問は、9月12日に6人の議員が12問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずねる

一般質問

町政を質す

野崎 喜彦 議員 9

- (1) 人口減少への対策について
- (2) 有害鳥獣対策と自然環境の保全について

藁谷 直吉 議員 10

- (1) 町の活性化対策について

緑川 栄一 議員 11

- (1) 人口減少対策は

佐藤 弘信 議員 12

- (1) ブックスタート事業について
- (2) 「木育」の推進について

岡部 淳一 議員 13

- (1) 今夏の放課後児童クラブへの対応は
- (2) コスモス荘改築と高齢者住宅建設
- (3) 地域との共生による再生可能エネルギー問題
- (4) 高齢者支援などへの取り組み状況

佐川 勇司 議員 14

- (1) 地域団体の保存と地域活性支援について
- (2) 学校給食無料化について



のざき よしひこ 野崎 喜彦 議員

人口減少への対策は

子育て支援策等を講じる

町長
教育長

厚生労働省の人口動態の毎年の発表によると、人口減少に関する項目で戦後最大などと最悪な状況を示す言葉が目立っています。そうした中、戦後70年間で生まれた子供の数は3分の1にまで減少したと発表されました。我が町の人口も、5000人を割り込むことが目前で、人口が減少することで様々な弊害を生むことは明らかであり、町政運営の各般に渡り将来を見据えた施策と対策が

求められています。
野崎 人口動態の自然増減と社会増減は（平成25年～29年）。
町長 自然増減は349人の減、社会増減は300人の減、合計で649人の減となっています。
野崎 人口増加に向けた取り組みの成果と展望は。
町長 「子育て・教育」に関する各種事業を展開し、若者の定着できる環境を整えたいと考えます。
野崎 人口減は、就労人口等の減少で税収減によ

り町財政の逼迫が懸念されるが方策は。
町長 企業立地補助金の創設や求人情報を、町のホームページで紹介するなどの支援をしています。
野崎 児童・生徒の減少から生じる、学校教育の方向性と課題は。
教育長 子育て支援策等を講じ進めます。競争意識の低下、人間関係などの固定化や、教員数の減少による教育活動の制限などが課題です。
 今や、農業従事者は、イノシシによる農作物への被害が深刻化し、農業の継続に大きな不安と、離農せざるを得ないという現実突き当たっています。
 また、豊かな川に泳いでいた魚影を見ることも少なくなってきたりなど、農村の風景や自然環境を守ることに、食の根本をなす農業の基盤がかつて経験したことのない脅威に晒されています。
野崎 有害鳥獣対策の効

果は上がっているのか。
町長 電気柵等により、農地への侵入防止効果は上がっています。
野崎 鳥獣被害による耕作放棄地の発生は。
町長 「被害があり耕作をしない、できない」という話は聞いています。29年度で非農地の面積は約128ヘクタール、遊休農地は約98ヘクタール。28年度に比べ遊休農地は約26ヘクタール増加しています。

電気柵による効果は上がっている

町長

有害鳥獣対策と自然環境の保全は

野崎 鳥獣捕獲後の処分・埋設などの指導、助言は。施設の設定要望はあるのか。
町長 指導しており、処分に係る施設の設定要望はありません。
野崎 イノシシの肉と、野菜・山菜の放射線量はどれくらいあるのか。
町長 イノシシ肉の今年5月捕獲のもので63ベクレル、7月で34ベクレル。
野崎 有害鳥獣駆除隊員は一定期間、専従隊員を確保してはどうか。
町長 24名任命している現行体制で進めさせていただきます。

野菜の制限はありません。ごみはセシウムの検出がなく、こしあぶらは2点検査で1キロ当たり79ベクレルと276ベクレル。チチタケは1408ベクレルです。

野菜の制限はありません。ごみはセシウムの検出がなく、こしあぶらは2点検査で1キロ当たり79ベクレルと276ベクレル。チチタケは1408ベクレルです。



鳥獣被害に遭わず収穫間近な「しょうが」



わらがや 藁谷 なおよし 議員

2人乗りモノレールの観光事業でまちおこしをする考えは

有効であるかを検証し、検討していく

町長

町も、超少子、超高齢社会に入り、農家人口の減少、耕作放棄地の増加空き家、空き店舗の増加に拍車がかかり、伝統行事なども継承していくのが困難になり、消滅が危惧されます。未曾有の社会に突入しました。

人口減少しても、町民の暮らしを維持するために、若者から高齢者まで町民が町に誇りと生きがいを感じ、安心な暮らしを持続可能にし、眠って



豊かな自然を体感できるモノレール
(提供：徳島県三好市観光協会)

いる町の観光資源を掘り起こし、観光を促進し、交流人口を拡大して活性化する「まちづくり」をする必要があります。そこで、次の点について伺います。

藁谷 三株山、鎌倉岳、竹貫城跡に、2人乗りモノレールの観光事業でまちおこしをする考えは。

町長 今後、モノレールに限らず、どのようなものが有効であるかを検証しながら、検討してまいりますと考えております。

藁谷 町職員提案を活用し町を活性化させる考えは。

町長 職員に対しては、日頃から「創意」と「工夫」により事業の構築をするよう伝えているところであり、今までも機会あるごとに提案をいただいています。

職員の提案には、積極的に耳を傾け、町の活性化に繋がる事業に取り組みたいと考えています。



地元の方が手入れする町道脇の花壇

町道の法面に花を植栽している方に行行政支援や表彰する考えは

苗と肥料は、町と県が連携して配布しており、町独自の表彰規定はありません

町長

藁谷 町の土地、町道の法面に花などを植栽している町民に行行政支援や表彰する考えは。

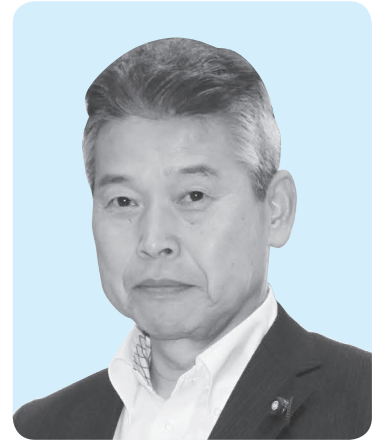
町長 道路脇等の花の植栽につきましては、各種団体により実施していただいていると聞いていますが、

その苗と肥料については町と県が連携し、配布しております。表彰については町独自の表彰規定はありませんが、過去に福島県道路愛護会長表彰および国土緑化石川地方推進委員会功労者表彰を

町内の団体が受けた実績があります。

藁谷 フォトコンテストの写真を、カレンダーや町のイベントのポスターなどに活用する考えは。

町長 町の健康カレンダーには使用しておりませんが、各種パンフレットや、越代のサクラ祭り、流鏝馬フェアのポスター、チラシ、ホームページ等に積極的に活用しております。



みどりかわ 緑川 えいいち 議員

人口減少対策は

効率的・効果的な社会基盤づくりが基本

町長

古殿町の人口は、昭和の合併以来減少の一途をたどり、昭和四十年代に過疎地域指定を受け、道路網の整備・教育施設・産業振興施設等の財源に充当され、人口減少抑制に寄与してきました。近年の少子化、首都圏二極集中による人口流出により町の人口は五千人を下回る事となりました。そこで次の点について伺います。

緑川 現在、古殿町が実施している人口減少抑制策は。

町長 町では4月に配布しております「ふるどの暮らしガイド」に掲載している「子育て・教育」に関する各種事業を展開し若者が安心して定住できる環境を整えております。今後においても、このような事業を更に充実させてまいりたいと考えております。

町長 平成28年3月に策

緑川 次年度以降、計画している人口減少抑制策は。



有効な利用が期待される保育所跡地

定しました「古殿町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載されている、「移住・定住の促進、若い世代の就労・雇用創出及び子育て支援に係る生活環境基盤の整備、今後の人口減少・高齢化社会を見据えた効率的・効果的な社会基盤づくり」を基本として、取り組んでまいりたいと考えております。

緑川 若者定住化促進のための具体策は。

町長 子育て・教育に関する独自の事業を打ち出し、若者が定住できる環境を整えていくことが必要であると認識しております。

町長 高齢者居住施設の整備事業を基本とし、より有効な活用方法について検討を進めているところであります。

緑川 空き家の有効活用計画は。

町長 現在のところ、具体的な活用についての



元気いっぱいの園児たち

計画はありませんが、空き家の利用については、持ち主の同意が必要となることから、今後、検討を進めてまいりたいと考えております。



さとう ひろのぶ 議員
佐藤 弘信

ブックスタート事業の推進は

今後、検討していきます

町長

全国の多くの自治体でブックスタート事業に取り組んでおります。ブックスタートとは、赤ちゃんが生まれてはじめて絵本と触れ合うときのことを言います。絵本を通して、親の愛情に満ちた言葉で語りかけられることで、心が豊かになり、情緒が安定し、親子の愛着の形成につながります。

県内でも33の自治体で事業化されています。子育て支援の観点、母子保健の観点、町づくりの観点から、ブックスタート



乳幼児向けの楽しい絵本

町長 ゼロ歳児に絵本を開く楽しい体験と、絵本をプレゼントする事業と認識しています。

佐藤 ブックスタート事業と類似する取り組みは行っているか。

町長 健康管理センターで絵本を購入し、乳幼児健診・相談、母と子の広場の際に絵本と触れ合う取り組みをしています。

佐藤 ブックスタート事業に取り組む考えはあるか。

町長 子育て世代包括支援センターの開設に向けワーキンググループを作り、協議・検討していきます。



木材にレーザーでイラストを描く体験

「木育」の推進に取り組んでは

必要性を含め今後検討します

町長

「木育」は、幼児から高齢者まで対象にした生涯にわたる幅広い活動です。木に対して理解を深めるだけでなく、鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する基礎を育むものです。

森林のまちとして各種施策に取り組んでおり、

更なる長期的な振興を考えた場合、小さい時から木・森林に親しむことで木育の推進を図るべき観点から伺います。

佐藤 「木育」に関しての認識は。

町長 環境問題に対する理解の基礎まで含む大切な活動と認識します。

佐藤 「木育」に関してどのような取り組みを行ってきたか。

町長 こども園では、木のおもちゃを玩具として利用するとともに、小学校では、森林環境学習や「緑の少年団委員会」の活動、中学校では、役員職員の指導で森林環境学習、レーザー加工機による体験など実施しています。

佐藤 「木育」の新たな取り組みは考えられるか。

町長 小中学校および公民館と連携していきます。

佐藤 赤ちゃん誕生記念植樹を企画してはどうか。

町長 必要性を含め今後検討していきます。

佐藤 1歳を迎えたお子さんに、町の森林認証材で作られた木製品をプレゼントしてはどうか。

町長 必要性を含め今後検討していきます。

佐藤 「木育」のためのウッドスタートについてどのように考えるか。

町長 必要性を含め今後検討していきます。



おかべ じゅんいち 議員
岡部 淳一

今夏の放課後児童クラブへの対応は

今までの夏以上に気を配りました

町長

今夏の異常とも思える暑さの中で、子供たちの体調について、保護者の皆さんは大変心配だったと思います。特に古殿小体育館を中心とした学童保育は、空調管理がままならない中での厳しい暑さに、体調を維持するのが大変だったと思います。次の点を伺います。

岡部 暑さ対策を希望する声に寄せられました。子供たちの体調は

どう把握したのか。
町長 指導員が今までの夏以上に、様子に気を配り、少しでも変化があれば声かけや検温を実施しました。
岡部 施設の温度管理はどう対処したのか。
町長 冷房のある活動室は、活動時間や利用人数に応じてエアコンの温度管理をし、体育館については、窓や扉を開けて風が入るようにしました。
岡部 体調をくずした児童はいなかったのか。



児童クラブで運動する子供たち

町長 微熱が出て医療機関を受診した児童が1名おりました。
岡部 今後の施設の在り方をどう考えているのか。
町長 基本的には、現在の体育館および校舎の活用を継続したいと考えて

います。
岡部 今後の指導員の配置をどう考えているのか。
町長 今後も利用人数や現場の状況に応じた適正な人員を配置したいと考えています。

コスモス荘改築と高齢者住宅建設は

現在、基本設計をまとめているようです

町長

コスモス荘施設改築が予定通りの方向で動き出していますが、整備内容は今後の高齢者の動向に絡んで相当な検討がなされていると思えます。

また高齢者住宅建設も最終的な方向に向かっていますが、この二つはある意味合いで関連するものと考えます。そこで次の点について伺います。



改築が予定されているコスモス荘

岡部 コスモス荘改築はどの段階に入っているのか。
町長 現在、改築に係る基本設計をまとめているところで、今後、実施設計に取りかかる予定です。
岡部 内容的な検討はどんな形で進んでいるのか。
町長 今年度は現在までに、主としてコスモス荘職員と間取りや配置、部屋の大きさなどについて協議を進めています。
岡部 今後のことを考えた特徴ある施設内容は出てきているのか。
町長 機能訓練室や、地域交流コーナーの設置等の声があります。

岡部 コスモス荘利用者が冬場だけ高齢者住宅を希望している方はいるか。
町長 コスモス荘利用者を対象とした調査はしておりませんが、希望者については把握しておりません。
岡部 高齢者住宅が過疎計画にもある季節住宅整備事業と違う形になってきたことを考え、コスモス荘に冬場だけの居住という施設内容は考えられないか。
町長 基本的には、コスモス荘と高齢者住宅とはそれぞれ異なる事業であると考えています。

その他の質問

- ・「地域との共生による再生可能エネルギー問題」
 - ・「高齢者支援などへの取り組み状況」
- の質問も行いました。



さ がわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

地域活性化支援の継続は

支援の実績をもとに検討する

町長

地域活性化支援事業は平成25年度から本年度まで予算措置されておりま

す。地域の頑張る活性化団体への支援が地域の元

気につながり、地域および町内外の交流も含め、

力強い町の活性化が展開されていると思います。

町全体の活性化を維持するためにも、この支援

は必要と思います。町のみならず、さまざまな地域団体の活

動が、町全体の活性化につながります。地域の元

気が消滅しないよう、今後の

も保存施策に取り組み支援すべきだと思います。

佐川 前年度のがんばる地域活性化団体への支援

は何団体か。その支援総額は。

町長 22団体に対して、総額391万8千円を支援しております。

佐川 地域の頑張る活性化団体への支援事業は、

今後も町活性化に大きく期待でき、継続すべき取

り組みとしたいと思います。今後の考えは。

町長 現行制度の補助金交付要綱は、今年度をもって効力を失うこと

なっていることから、平成31年度からの事業のあり方については、これまでの支援実績をもとに検討してまいります。

佐川 地域の元気が消滅しないよう、町伝統文化保存を含め、さまざまな団体活動を把握し支援すべきと考えます。今後の考えは。

町長 これまでの実績をもとに検討してまいります。



魚つかみに多くの来客でにぎわう越代のサクラ公園



伝統を引き継ぐ竹貫正調盆踊り

町独自の学校給食無料化を

今後の政策で検討を進める

町長

佐川 人口減少が進む中

少しでも若い世代に定住していただくためにも、

子育て支援も含め、学校給食無料化は進めるべき

施策としたいと思います。

町長 今後の子育て支援政策の中で検討を進めてまいります。



No.43

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 図書館の土日開館

Q 平成29年3月一般質問から

希望する町民のために、町の図書館を土日開館しては。

A 町長答弁

利用者ニーズや公民館の職員配置を考慮する必要があります。実態を把握し、実情に合った開館を検討しています。



多くの利用が期待される公民館・図書館

その後の
対応

試行的に土日開館を実施

平成30年4月から休日開館を試行的に開始しました。町のホームページや館報ふるどのなどで日程をお知らせしています。



土日も開館しています

仕事で平日に図書館へ来られない方などが、たくさん来館できるようになるね！



しももちー

平成27年の中学生議会で提案されて誕生した「凍み餅」のキャラクター

No.36

今回紹介するのは、

「上松川長寿会」のみなさんです。

***現在会員は何人で活動していますか？**

男性12人、女性25人の37人で活動しています。
会長は、井上孝郎さんです。

***どのような活動をしていますか？**

- * 鮫川沿いに花を植えて環境美化に努めています。
- * ボランティア活動を年4回行っています。
- * 区や公民館事業に積極的に参加しています。
- * ゲートボールやクロリティを楽しんでいます。



小正月の団子さしに参加した皆さん

***今後どのような活動をしていきたいですか？**

今やっている事業の中身を充実していきたいです。

***今後、活動していくうえで、課題は何かありますか？**

- * 会員が少ないので、会員確保に努めていきたい。
- * 高齢者なので、交通の手段の確保が難しい。



花植えをする会員の皆さん

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

12月上旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ